

# にいがた玄米・白米 プロジェクト (仮称)

一般社団法人 日本社会連帯機構 新潟  
〒950-0982

新潟市中央区堀之内南 1-1-22 坂木ビル 3-A 号

Tel : 025-384-8222 Fax : 025-384-8224

<2012年11月30日発行>

担当：土屋・守本



10月から11月にかけて、お寄せいただいたお米は、

## 27名の方から32kg

でした。

今回ご提供いただいたお米などは、11月29日に新潟県パーソナル・サポートセンターへ寄付いたしました。たくさんのご提供ありがとうございました。

にいがた玄米・白米プロジェクトですが、この間様々な方々から、多くの反響をいただいております。

ひとつは、毎日新聞新潟版11月15日に掲載していただきました。



新潟県生協連さんから、いただきました

新潟県生協連さんからは、お米以外のドレッシングや缶詰、トマトケチャップなどをご提供いただきました。

少しずつこの取り組みを知って、生活に困窮されている方の力になろうという方々の輪が広がっています。

12月からは、新潟県パーソナル・サポートセンターさんの他に、15歳から20歳までの家庭がない児童や家庭にいないことができない児童が入所して自立を目指す活動を行われている「自立援助ホームたいむ」さんや、路上生活者支援等に取り組まれている「越冬友の会」さんにも寄付を広げていきます。



第14回協同組合まつり実行委員会さんから、チャリティオークションの売上と、出展団体の県民こめまつりブースより物販売上金を、700kgのこしいぶきをご購入いただき、贈呈していただきました。

この贈呈式の模様を新潟日報（11月28日）にも紹介していただきました。

次回12月は、

**12月21日(金)**

に皆さんで持ち寄りしたいと思います。

# 新潟

http://mainichi.jp/area/nigata/

## 新潟支局

〒951-8106  
新潟市中央区東大畑1番町843  
☎025(222)1515  
FAX025(222)1517  
長岡支局 ☎0253(32)0906  
FA0258(30)1065  
上越通信部 ☎025(523)2666  
南魚沼通信部 ☎025(770)0655  
柏崎通信部 ☎0257(21)5900

広告は

☎025(222)1881

購読は

☎0120・468・012

# 生活困窮者に米寄付

## 新潟で社団法人「息の長い運動に」 1人1合募る



「生活に困窮した人のために、1人1合の米を」と呼びかける守本洋三さん(右)と上原裕之さん(左)新潟市中央区で

生活に困窮している人たちを、市民一人ひとりの力で支えようと一般社団法人「日本社会連帯機構 新潟(新潟市中央区堀之内南)」が、米1合の寄付を募る「にいがた玄米・白米プロジェクト(仮称)」に取り組んでいる。集めた米は生活困窮者の支援団体などに寄付しており、守本洋

三さん(右)と上原裕之さん(左)は、同センター事務所にて米を持ち寄る日を設定しており、次回は今月16日。それ以外の日を持ち込みも可能。問い合わせは同機構新潟(025・384・8222)。

【小林多美子】

**相談の相**  
**ピアノ処分の**  
びあのおらす 検索  
☎0120(517)666  
古物商許可:303251008456 東京都公安委員会  
**ピアノプラス**

内では、同センター事業団北陸信越事業部が中心になって活動をしている。同プロジェクトは9月から呼びかけを開始。27人から約32キロの米が集まり、失業や病気など生活上の困難を抱える人の自立を支援する「パーソナル・サポート・センター新潟」(同市中央区新光町)に10月18日に寄付をした。毎月1回、同センターなどの支援団体に寄付する予定だ。守本代表は「1人が100合を寄付するより、100人が毎月1合ずつ無理のない範囲で長く続ける運動にしたい」と話す。呼びかけに応じた人々から

新潟日報

2012年11月28日付 地域

# 生活困窮者へ新米を

## 新潟・協組まつり実行委 支援組織に700キロ贈る



写真＝生活困窮者を支援する団体に新米を贈る協同組合まつり実行委員会メンバー(右)27日、新潟市中央区

新潟市中央区で先月開かれた「第14回協同組合まつり」の実行委員会委員長・吉田茂真(農協中央会専務理事)が27日、催しの売上金を活用して、市内の生活困窮者を支援する団体に新米のこしい

700キロを贈った。低所得者や子供の自立援助施設などに届けられる。同区の県農協中央会で、吉田専務理事がワイカーズコープ北陸信越事業本部(同区)の守本洋二(本部長)に目録などを手渡した。守本本部長は「コメどころ新潟でもコメを食へられない人たちがいる。本当にありがたい」と話した。

同本部は生活困窮者にコメを支援する取り組みを続けており、一般からもコメの寄付を募っている。守本本部長は「1人1〜2合程度を、できれば長期にわたって寄付してほしい」と話した。問い合わせは同本部、025(3384)8222。